○松山衛生事務組合職員の特殊勤務手当に関する 条例

制 定 昭和 43 年 1 月 10 日条例第 7 号

改 正 昭和 43 年 3 月 28 日条例第 12 号 昭和 44 年 3 月 31 日条例第 1 号

昭和 44 年 12 月 24 日条例第 3 号 昭和 45 年 12 月 25 日条例第 3 号

昭和 46 年 12 月 27 日条例第 2 号 昭和 47 年 12 月 28 日条例第 2 号

昭和 48 年 12 月 27 日条例第 3 号 昭和 49 年 12 月 27 日条例第 2 号

昭和 55 年 2 月 21 日条例第 2 号 平成 11 年 3 月 31 日条例第 1 号

平成 21 年 3 月 27 日条例第 1 号

(目的)

第 1 条 この条例は、地方公務員法（昭和 25 年法律第 261 号）第 24 条第 6 項、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 204 条第 3 項及び松山衛生事務組合職員給与条例（昭和 41 年条例第 4 号）第 2 条の規定に基づき、職員の特殊勤務手当に関する事項を定めることを目的とする。

2 特殊勤務手当は、著しく危険、不快、不健康又は困難な勤務その他の著しく特殊な勤務で、給与上特別の考慮を必要とし、かつ、その特殊性を給料で考慮することが適当でない認められるものに従事する職員に対し、その勤務の特殊性に応じて支給するものとする。

(特殊勤務手当の種類)

第 2 条 特殊勤務手当の種類は、次のとおりとする。

- (1) 特殊労務等勤務手当
- (2) 作業指導員等業務手当
- (3) 特殊現場業務手当

(特殊労務等勤務手当)

第 3 条 特殊労務等勤務手当は、し尿処理場に勤務する労務職員でし尿処理の業務に従事した職員に対して支給する。

2 前項の手当の額は、勤務 1 日につき 1,000 円とする。

(作業指導員等業務手当)

第 4 条 作業指導員等業務手当は、現場作業に関し所属職員の作業遂行を直接指揮した職員に対して支給する。

2 前項の手当の額は、勤務1日につき400円を超えない範囲内において規則で定める。
(特殊現場業務手当)

第5条 特殊現場業務手当は、し尿処理場に勤務する職員でし尿処理業務に従事した職員に対して支給する。

2 前項の手当の額は、勤務1日につき500円とする。
(準用)

第6条 本条例に定めるもののほか、特殊勤務手当の支給に関しては、松山市職員の特殊勤務手当に関する条例(昭和31年松山市条例第24号)を準用する。

(委任)

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、組合長が定める。

付 則

この条例は、公布の日から施行し、昭和42年12月1日から適用する。

なお、昭和42年10月1日から同年12月31日までは、第3条第2項の金額は、50円と読み替える。

付 則(昭和43年3月28日条例第12号)

この条例は、昭和43年4月1日から施行する。

付 則(昭和44年3月31日条例第1号)

この条例は、公布の日から施行し、昭和44年1月1日から適用する。

付 則(昭和44年12月24日条例第3号)

この条例は、昭和45年1月1日から施行する。

付 則(昭和45年12月25日条例第3号)

この条例は、昭和46年1月1日から施行する。

付 則(昭和46年12月27日条例第2号)

この条例は、昭和47年1月1日から施行する。

付 則(昭和47年12月28日条例第2号)

この条例は、昭和48年1月1日から施行する。

付 則(昭和48年12月27日条例第3号)

この条例は、昭和49年1月1日から施行する。

付 則(昭和49年12月27日条例第2号)

この条例は、昭和50年1月1日から施行する。

付 則（昭和 55 年 2 月 21 日条例第 2 号）

この条例は、公布の日から施行し、昭和 55 年 1 月 1 日から適用する。

付 則（平成 11 年 3 月 31 日条例第 1 号）

この条例は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。

付 則（平成 21 年 3 月 27 日条例第 1 号）

この条例は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。